

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 9 月 5 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	製材所におけるチップ等を有効利用した清滝温泉事業
承認番号	JCDM-PJ0014
排出削減事業者名	キタヤマコーポレーション株式会社
排出削減共同実施事業者名	九州電力株式会社 三菱商事株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	源泉野天風呂 那珂川 清滝 (福岡県筑紫郡那珂川町大字南面里字川床 326)
事業の概要	温泉加温用ボイラーを、重油焚きボイラーから木質バイオマス焚きボイラーに転換することにより、重油使用量・CO2 排出量を削減するとともに、製材所から発生するチップ等の有効活用を推進する。
排出削減量の計画	740 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 2,834tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 6 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 4 月 1 日 ~ 2011 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	841tCO ₂ (2010年4月1日～2011年3月31日)
--------------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業計画通りに、重油焚ボイラーから木質バイオマス焚ボイラーへの更新事業が実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるボイラー稼働時間記録、木質チップの購入実績の確認などにより確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、排出削減事業計画との突合により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法については、承認排出削減方法論及び承認事業計画に従い、事業実施後燃料(木質チップ)の使用量はチップ供給者からの請求書に基づき、単位発熱量や木質バイオマス焚きボイラーの効率は計測に基づき、稼働時間は営業日報に記録するボイラー稼働時間に基づき、モニタリングが実施されていることを、それぞれ根拠資料の確認や関係者への質問により確認した。 2) 活動量の正確性については、排出削減事業所の責任者および本事業の責任者の管理の元、モニタリングが実施さ

	<p>れており、請求書、営業日報などの記録・保存が行われ、単位発熱量やボイラー効率の計測が適切に実施されたことを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5 . 特記事項

本事業による本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量については熱量換算で 13,098.1GJ であることを確認した。